

北筑高等学校の「総合的な探究の時間」

北筑高校の「総合的な探究の時間」は「北筑C⁵プラン Change, Chance, Create, Courage and Challenge!」という名称で、基本的に週に1単位時間（50分）、3年間で105時間が設定されている授業です。この授業を通して、課題解決の方法やコミュニケーション力を身につけ、物事に主体的に取り組む人間力を養います。

1年次はSDGsを理解して地域の課題解決を考える探究学習を、2年次には自己の興味に基づいてテーマを設定し、持続可能な社会の形成を自分事としてとらえて行動し、実践する力を身につけるための個人研究を行います。それらの活動は自己の進路を考えることや思考力・表現力を培うことにもつながり、3年次には希望進路の実現のための志望理由書をまとめます。

「総合的な探究の時間」の行事報告

1年 大学・企業訪問

SDGsについて大学や企業でどのような取り組みがなされているかを知るとともに、大学生や社会人となった自分の将来像を考えるために、1年生272名が令和5年7月11日（火）、12日（水）に福岡工業大学・株式会社安川電機を訪問しました。

福岡工業大学では、複数の先生方からSDGsに関連した研究についての講義を受けました。エコマークのような環境ラベルの持つ意義、廃棄される酒粕を発電に利用する方法など、課題解決に向けて、文系・理系の領域を越えた様々なアプローチがあることを知りました。IT機器が充実した環境や熱心に学ぶ大学生の様子を見て、進路について考えるよい機会になりました。

安川電機では、生産されているインバーターが省エネルギーに貢献していることを知り、高度な能力を持つロボットが人と共に働く工場を見学しました。特に、安川電機みらい館で見たプロジェクトマッピングがとても美しく、生徒はロボットとのゲーム対戦を楽しみ、その美しさや楽しさを支える科学技術に感動していました。



福岡工業大学



株式会社安川電機（安川電機みらい館）



（進路指導領域課キャリアデザイン班）